

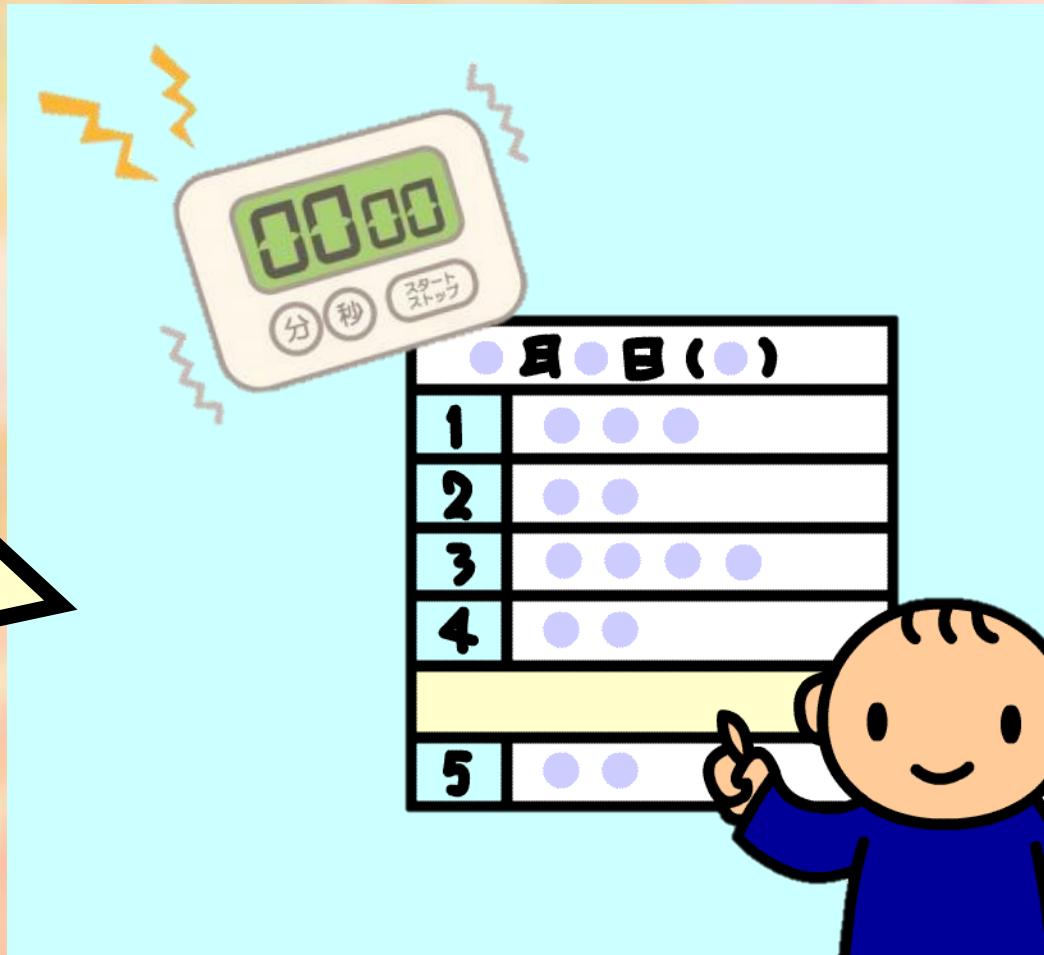
事例から学ぶ！！！

“できる”を引き出す・拡げる支援

～その子に適した構造化を使って～

今回のテーマは・・・

スケジュールで  
タイマーを使用する時  
について



# 皆さんにはこんな経験ありませんか？

Aタイマーが鳴ったので移動だけれど、体制が取れないので「もうちょっと待ってね！」と言って子どもに待ってもらう

Bタイマーが鳴ったのに、本人がなかなか切り替えられず、おもちゃで遊び続けている

Cタイマーが鳴ってスケジュールを確認すると、すぐ移動したがって、みんなを待ってくれない



# タイマー使用時の注意点

・タイマーを使用する際は、

「鳴ったタイミングで

指導者が動く」

がとても重要！！！

みなさん  
物体ないこと  
してあるかも？！





Aタイマーが鳴ったので移動だけれど、体制が取れないので「もうちょっと待ってね！」と言って子どもに待ってもらう

- ・タイマーが鳴って本人が移動しようとしているのに「待って！」と言われるのは、すごくストレスになる。
- ・タイマーが鳴った時に動かないことを続けると、スケジュールの意味が曖昧になってしまう。タイマーの意味合いが薄れてしまう。





Aタイマーが鳴っていてもすぐ移動できない・待ってもらわなければならぬ時は、どうしたら良い…？！

- ①予めすぐに移動できないと分かっているなら、「待つ」カード＆待機場所を提示してスケジュールに組み込む(タイマー鳴る→待機場所で待機→活動場所へ移動)
- ②タイマーが鳴った瞬間に移動できなかつた場合は短時間(30秒や1分)で良いので再度タイマーを設定して、やり直す





Bタイマーが鳴ったのに、本人がなかなか切り替えられず、おもちゃで遊び続けている

- ・「タイマーが鳴った瞬間に終われなかつた」というのは、本人のタイミングと合わなかつたということ。
- ・そんな時に、「違うよ！ 終わってね！」と言われても本人にとっては無茶苦茶タイミングが悪いので、パニックになってしまふ要因になる。





Bタイマーが鳴ったのに、本人がなかなか切り替えられない時は、どうしたら良い…？！

- ①タイマーが鳴った瞬間に、次の活動や行動が分かるスケジュールを提示し、そこへ促す。
- ②一度で上手くいかなかった時は、再度タイマーを短時間で良いので設定して、①と同じようにスケジュールを提示する、もしくはスケジュールを再度確認するように促す。





Cタイマーが鳴ってスケジュールを確認すると、すぐ移動したがって、みんなを待ってくれない

- ・そもそもスケジュールやタイマーは、本人が自立て行動するための支援ツール。スケジュールやタイマーによってすぐ行動するのが、本来は正しい。
- ・どうしても待ってほしいのであれば、そのことをタイマーが鳴った後に示すスケジュールに盛り込んでおく必要がある。





Cタイマーが鳴ってもすぐ移動せず、みんなを待つてほしい時は、どうしたら良い…？

- ①一人で移動してほしくない時は、「タイマーが鳴ったら、誰と一緒に移動するか」を示したスケジュールを提示しておく。
- ②タイマーが鳴ってもすぐに移動できないのであれば、「○○(場所)で待機する」ということをスケジュールに入れておく。



タイマー使用時はタイミングが命！  
定着をはかるためには、鳴った瞬間  
に指導者が反応して、次の行動へ  
促そう！





皆さんいかがでしたか？  
タイマーはとっても便利なのですが、  
使い方次第でその効果が倍増したり  
半減したりするんですね。

次回は「待つこと」について、お伝え  
いたします！！お楽しみに♪